

1 調査の目的

本調査は、三島市在住の満20歳以上の男女個人を対象に、居住環境に対する意識や広報活動に関する関心度などの意見を聴取することにより、今後の行政施策の基礎資料を得ることを目的とした。

2 調査の設計

- (1) 調査地域 三島市全域
- (2) 調査対象 三島市在住の満20歳以上の男女
- (3) 標本数 2,000人
- (4) 抽出方法 単純無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送調査
- (6) 調査期間 平成18年7月14日 ~ 7月28日

3 調査内容

調査内容は本人の属性の他、以下の4テーマである。

- (1) 『日常生活』について
- (2) 『広報広聴・市民相談』について
- (3) 『男女共同参画』について
- (4) 『市の取り組み』について

4 回収結果

回収結果は、以下の通りである。

- (1) 総回収数 1,157人 (総回収率 57.9%)
- (2) 有効回収数 1,157人 (有効回収率 57.9%)

有効回収数は、回収はされたが、記入のない(または少ない)調査票を除いて集計した数。

5 報告書の見方について

- (1) 比率は全てパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのためパーセントの合計が100%にならないことがある。
- (2) 基数となるべく実数は、調査数（n）と表示しており、回答比率はこれを100%として算出した。
- (3) 複数回答が可能な質問では、その項目を選んだ人が回答者全体のうち何%なのかという見方をする。そのため、各項目の比率の合計値は通常100%を超える。
- (4) 本調査は単純無作為抽出により対象者を抽出したので、標本誤差は次式で近似できる。

$$= 2 \sqrt{\frac{P(1-P)}{n}}$$

: 標本誤差
 n : 標本の大きさ
 P : 回答比率

回答者総数（1,157人）を100%とする場合の質問で、ある回答選択肢に対する回答比率が50%であるとする、母集団（20歳以上の三島市民全体）の回答比率は47.06%～52.94%の間であると推測される。

回答比率	標本誤差
50%	± 2.94%
60%または40%	± 2.88%
70%または30%	± 2.69%
80%または20%	± 2.35%
90%または10%	± 1.76%